

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2005-148730(P2005-148730A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2004-323832(P2004-323832)

【国際特許分類】

G 10 D 3/10 (2006.01)

G 10 D 1/08 (2006.01)

【F I】

G 10 D 3/10

G 10 D 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月2日(2007.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

弦と、

該弦の少なくとも一部を被覆する低温樹脂と組み合せたポリマーカバーとを含み、該低温樹脂が、300未満の試験条件温度のもと、5Kgの一定荷重で以って1g/10分を超えるメルトフローレート(ASTM D1238によって測定される)を有する熱可塑性樹脂と、熱硬化性樹脂とから成る群より選択された少なくとも1つの材料を含む、楽器用の弦。

【請求項2】

前記樹脂がUV硬化された、請求項1に記載の楽器用の弦。

【請求項3】

巻き弦と、

該巻き弦の少なくとも一部を取り囲み、低温UV硬化接着剤の使用を介して該巻き弦に取り付けられたポリマーカバーとを含み、該低温UV硬化接着剤が、300未満の試験条件温度のもと、5Kgの一定荷重で以って1g/10分を超えるメルトフローレート(ASTM D1238によって測定される)を有する熱可塑性樹脂と、熱硬化性樹脂とから成る群より選択された少なくとも1つの材料を含む、楽器用の弦。

【請求項4】

前記ポリマーカバーが少なくとも幾らかの多孔性を含み、該多孔性の少なくとも一部が前記低温UV硬化接着剤で満たされた、請求項3に記載の楽器用の弦。